



**教えて！みんなの
あそびば!! ASOVIVA - 夏物語 -**

皆が大好きな、とっておきの場所や遊び場を大募集!!
募集期間は7月17日(月)から8月31日(木)までの夏休み中
デジカメや携帯電話で「あそびば」紹介写真を送るだけでOK!!
応募者には抽選で記念品(純の具セット)もプレゼント!!
皆の楽しい笑顔と遊び場、どしどし応募待っています

夏に遊んだ
とっておきの場所を
みんなに教えちゃおう!!

参加賞
写真を撮って送りなさい

募集中

応募上の注意事項

応募資格
三原に関心のある人ならどなたでも

応募方法1 (インターネット、携帯電話で応募する場合)
 1. はじめに、あなたのとっておきの「あそび場」など、あそび心のつまった写真を撮ってください。
 2. 次に、「あそビバ」のホームページにアクセス
 --> 必要事項(作品名、撮影場所、一言コメント)を入力
 --> 写真を添付したことを確認
 --> 送信ボタンを押してください。
 3. 最後に、「あそビバ!!」ホームページでいろんなあそび場をいっぱい見つけよう。

* デジタルデータはJPG形式に変換して応募してください。

応募上の注意事項**(基本事項)**

- ・公序良俗に反する画像や文章の投稿はお断りいたします。
- ・写真に人物が写る場合は、被写体に許可を得たもののみを応募してください。
- ・応募された作品は選定委員会の選考の後、ホームページ等に掲載します。
- ・送付していただいた写真は返却いたしませんのであらかじめご了承ください。

応募期間

2006年7月17日(月)から8月31日(木)まで



(社)三原青年会議所 誇りあるまち創造委員会は、三原市民の皆さんのが自分たちのまちを知り、自分たちのまちを誇りに思うことがまちづくりの基本であると考え、三原市役所自主研究グループ「みはら応援団」の方と協力して、みはら再発見事業『あそビバ!!』～夏物語～を行っています。多くの三原市民の皆さんに参加していただき、今まで知らなかった三原の「遊び場」を市民全体で共有し、誇りに思える場所のひとつに加えていただく事が、今後の三原市のまちづくり活動の火種になると思っています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

募集要項

テーマ 「わたしの みはらの あそびば」
わたしの大好きなあそび場、とっておきのあそび場。子どもも大人も楽しめる…そんな場所や楽しいひとときを撮影した写真を送ってね。

【保護者の皆さまへ】

ぶちえみはらクラブ(事務局:(社)三原青年会議所内)では「わたしの みはらの あそびば」をテーマに、『みはらあそび場マップ』を作るため、みんながこの夏遊びに行ったとっておきの場所やみんなに知りたいここ一番の場所などの紹介写真を募集します。

デジカメや携帯電話などメールでの応募もOK!! みんなが見過ごしているような穴場をどんどん撮って送ってください。応募された方には抽選で記念品をプレゼント!!みんなの楽しい笑顔とあそび場、どしどし応募待っています。

まずは「あそビバ!!」ホームページにアクセスしてね!!

詳しい内容と、これまでに掲載された写真が見られます。

「あそビバ!!」ホームページ
<http://mihara-jc.com/asoviva/>
 メールアドレス
 E-mail : asoviva@mihara-jc.com
 QRメールコード

**応募・問い合わせ先**

〒723-8555 三原市皆実4-8-1
 (社)三原青年会議所内「あそビバ係」
 《電話》0848-63-3515 ※土日祝日を除く
 担当 佐藤 《携帯》080-1939-3173
 主催 (社)三原青年会議所・ぶちえみはらクラブ
 後援 三原市、三原市教育委員会

*ぶちえみはらクラブは、(社)三原青年会議所と三原市職員自主研究グループ「みはら応援団」が協働し、みんなが好きなまち「みはら」を、もっと実現するため活動する場としてつくった自由なクラブです。
 (ぶちえみはらクラブ参加者も同時募集!!)

内の「遊び場」の情報を収集し、広く市民に発信する事業を行っている。それぞれの地域が自慢する遊び場を、お互いが知るということは、お互いの地域を知る第一歩になるのではないだろうか。三原市が「戸が笑う」まちになるよう、一体感のあるまちを目指し活動してゆきたい。

**みたがきいたが**

◆新三原市として生まれ変わってから1年と数ヶ月が経過しようとしている。しかし、あまり大きな変化を感じるのは私だけではないだろう。市内各地で行われるお祭りなどのイベントを通して地域間の交流は増えつつあるのだが、市民が一体感を感じるにはまだまだ程遠い状況にあるように感じる。◆先日、陶芸家

北川八郎氏の講演を拝聴する機会があり、その中で「戸(と)が笑う」という言葉を聞いた。「その地域に住む人やその家に住む人。そして、そのまちで働く人がお互いに仲がよく、和気あいあいとした雰囲気のことで、まるでその建物の入り口が笑い、光を放ち、人を呼び寄せるような福の現象」を言うようである。まさに、このことこそが一体感のあるまちのことではないだろうか。◆(社)三原青年

会議所では、ビジョン「三原の誇想 力(こうそう そうりょく)」の中で、一体感のあるまちとは「同じ志を持った市民同士が相手の個性、立場や環境を尊重し相互理解を深め、支え合い信頼関係で結ばれたまち」であるとしている。では、この状態に少しでも近づけるために必要なものは何だろうか?それは「三原市民がもっともっとお互いを知る」ことではないかと私は感じる。◆この夏、三原市